

季節のことば

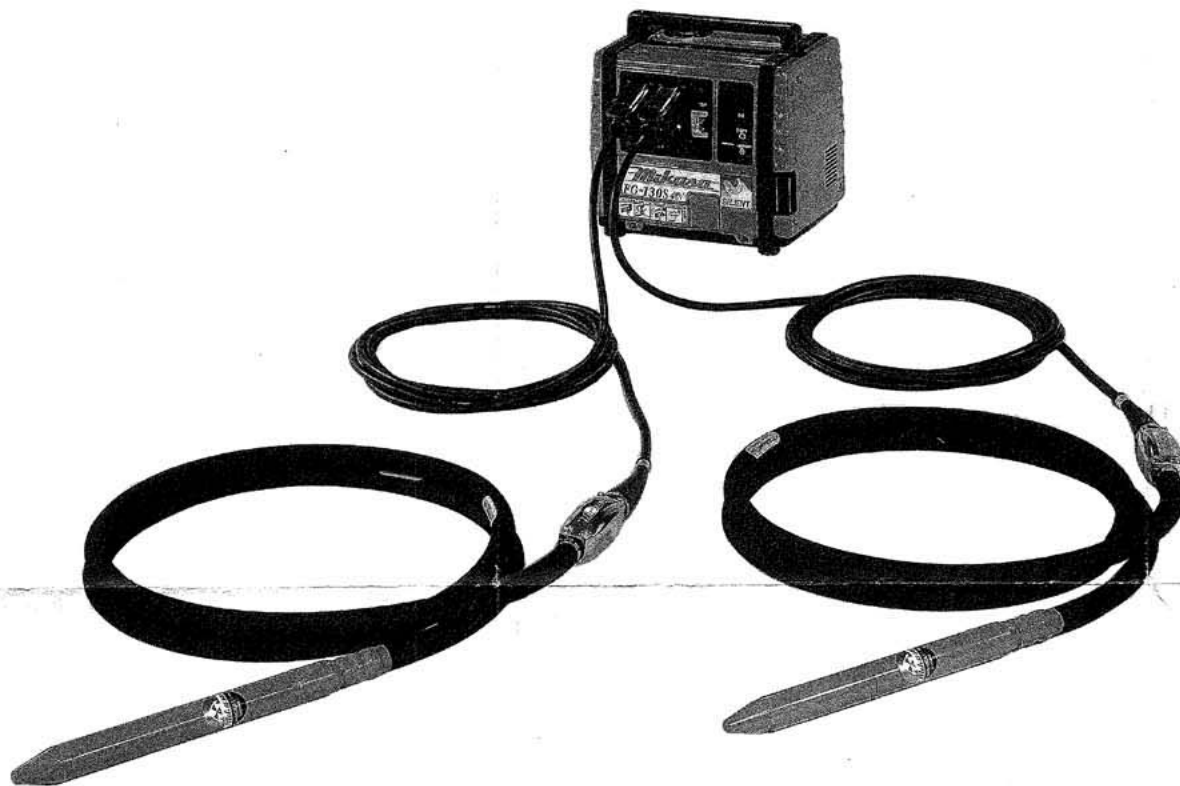
虹立ちて忽ち君の在る如し
(虚子)
激しい夕立の後に、あの鮮やかな光の配列に遭遇すると、自分の今日という日が平凡でなくなるような気がする。何かすがすがしく、また、幸福の予兆を体感するのだ。しかし、古代の中国では虹は不吉の

前兆とされたい。虹を天上に棲む竜や虫であると考えていたようだ。この世にあらざるような、言葉を継ぎ足しても足りない、そんな美しいものを見たとき、ひとは相反する気持ちを抱くのかもしれない。虹消えて忽ち君の無き如し
(虚子)

三笠ニュース

●あなたと三笠をむすぶホット情報●
PR旬報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

新製品 超低騒音型 FG-130S 高周波エンジンゼネレーター



三笠産業ではマイコンバイブレーターの発表以来その性能向上、使いやすさの追求に日夜努力してまいりました。その結果として、ユーザー様の評価は年々着実に高まっておりますが、お客様の中には長年使い慣れた高周波バイブレーターを使いたいというユーザー様や、保有機の関係でなかなかマイコンには切り替えられないというレンタル業者様もたくさんいらっしゃいます。

三笠ではこうした高周波バイブレーターをご愛用頂いている皆さまのご要望にお応えするため、マイコンバイブ

レーターで培った技術をフィードバックしながら高周波バイブレーターの改良にも取り組んでまいりました。そしてこの度、FX系の高周波バイブレーターを全面改良するとともに、超低騒音型のエンジンゼネレーターFG-130Sを発表することになりました。

超低騒音型高周波エンジンゼネレーター FG-130S

新製品のFG-130Sは騒音対策に主眼をおいて開発した高周波バイブレーター専用の携帯発電機で、建設省の超低騒音型発電機基準値65dB以下を軽くクリアし58dBと非常に静かな発電機です。住宅地はもちろん夜間のコンクリート工事にも威力を発揮します。

また世界中で一番厳しいといわれるカリフォルニア排ガス規制をクリアしたエンジンを搭載し、燃料漏れ、焼付け等のあらゆる危険に対する防護措置を施したすぐれものです。5時間の連続運転が出来、23kgと軽量なこの高周波エンジンゼネレーターを是非一度お試し頂き、皆様のお役に立てて頂きたいと思っております。

FX高周波バイブレーター

この度、長年ご愛用頂いております、FX系高周波バイブレーターを全面的

に改良し操作性、耐久性を大幅に向上させました。

まずスイッチボックスを小型軽量化し見るからにスマートなデザインにしました。これにより作業中に鉄筋などに引っかかりにくくなり、作業性が非常によくなりました。

次にFX-40、45、50のゴムホースの直径を従来の37mmから34mmに変更し握りやすくしました。もちろん肉厚を見直すなどして、耐久性は従来以上になっております。

小径のFX-30はローターのホース側ベアリングをダブル構造とし、同時に振子両端のベアリングも特殊なものとし、耐久性の大幅向上を図りました。また高周波全機種の入力プラグを特殊混合物の練り合わせによるプラスチック製とし、変形や押圧に強いものにすると同時に従来のものとの区別のため入力プラグ及び原動機側メスプラグを紺色にしました。同時に振動筒の塗色を淡いブルーとしております。メスプラグの蓋には作業中のオスプラグ脱落防止のストッパーを設けました。(特許申請中)

これらの改良のため型式呼称をFX-30Aというように最後にAを付けてお



仕事柄というのではなく以前から建築にはかなり深い興味と関心をもっていた。気が向くままの自由な旅ではなかったが外国や日本各地でまたま目に触れて、その外装内装の意匠に感心した歴史的建物の印象は強く残っている。

朝な夕な十年一日いや五十年一日のごとく乗り降りしている東京駅で「ジョサイア・コンドル展」が開催されて、建物熱がまたぞろぶり返してきたようだ。「鹿鳴館の建築家」というタイトルがついているジョサイア・コンドルは、明治政府お雇い外国人の一人として工部大学校(東大)で西洋建築のすべてを教えた。のちに東京駅の設計で知られる辰野金吾博士がその筆頭の愛弟子だったことはともかく、多芸多趣味で打込み型コンドル氏の驚くべき日本傾倒ぶりを私は今回始めて知って目を見張ったのだった。築山造園、和服衣装、川鍋晩斎への弟子入り、日本女性との結婚、歌舞伎芸能研究など日本の芸道を極めるまでに打ち込んでいるではないか。時代が生んだ資質というのか明治の日本人には完全脱帽をしてきたが、ここにも凄腕の明治の外国人がいたのである。

なんの因縁か、会社への朝夕目にする駿河台の上に異彩を放つニコライ堂もロシア人シュチュールボフの原案に基づいたコンドルの設計とか、これまで東京駅へ寄せる親しみは辰野金吾博士への親しみだったが、これからはコンドル先生も重ならざるを得ないだろう。

梅雨空の窓へにもたれるひとときを、せめて辰野金吾建築の余香にもとめようと、ご長男たる辰野隆先生の名訳『シラノ・ド・ベルジュラック』から数々の粋な台詞を思い出している。典雅で小気味のいいシラノの台詞は、どれもこれもがまさに言葉の大建築であるよなあ……などと独りで悦に入る姿は、とても人様に見せられるようなものではない。

ります。新FXシリーズを従来にましましてご愛顧下さいますようお願い申し上げます。

FG-130S仕様

出力	出力(KVA)	1.25
	電圧(V)	48
	電流(A)	15
	周波数(HZ)	240
	力率	0.8
エンジン	メーカー名	ヤマハ
	種類	OHV
	名称	MF-85
	定格出力(PS/rpm)	2.0/3,600
	最高出力(PS/rpm)	2.7/4,200
外形寸法	全長(mm)	390
	全幅(mm)	280
	全高(mm)	388
	重量(kgf)	23
	連続運転時間(h)	5(満タン)
性能	騒音(dB)	58
	プラグ差込数(本数取り)	2(φ50=1本, φ40=2本)

【装備】

- マグネット式発電機
- ブレーカー(発電機保護)
- 発電表示ランプ
- オイルセンサー
- オイル不足警告ランプ
- 発電機外周構造
- 大型マフラー
- 横転時燃料漏れ対策
- オートデコン



三笠産業創立60周年記念祝賀会 賑やかに和気あいの雰囲気

弊社創立60周年記念祝賀パーティーは、東京港区虎ノ門のホテルオークラ随一の大広間「平安の間」で、うらかな春の好天に恵まれた四月九日の午後一時、約五百人のお客様をお迎えして盛大に行われた。

広々としたロビー。ずらりと並んだ受付。

そくそくとお見えになれるお客様を、正装した三笠の社員が接待ご案内して会場へ。

入り口では京谷社長以下三笠の役員一同が整列し、親しみこもったお迎えの礼が交わされた。

会場入り口の正面には花に包まれてライトアップされた『おかげさまで60周年・三笠産業株式会社』という清楚にして豪華なメッセージ看板が、まず最初の雰囲気づくりに役立っていた。

弦楽四重奏の流れる場内。親睦の談笑がはじまり大広間にリラックスムードがひろがるのを見計らって、中央壇上に立った京谷社長は「一言ご挨拶を申し上げます。本日は時節柄なにかとお忙しいところ、また遠方にもかわりませず、大勢のお歴々の方々が私どもの創立60周年記念祝賀会にお越しを頂きまして、これに過ぎる喜びと光栄はございません…」と挨拶。

つづけて簡潔に三笠産業の60年のあゆみを語り新しい明日へむけての信念をのべて「これからの三笠を担う私達は、創業のバイタリティーをよみがえらせて次の七十年…百周年に向かって着実な歩を進めてまいります。……

現在の経営を取り巻く環境は厳しい国際化の中にあって、いやおうなく新しい競争の時代に突き進んでおりますが、どんな困難や逆境にあっても決してひるむことなく、常に明るい希望を持ち、人々の共感と支持を得るための努力をつづけてまいります。……何卒、ご列席の皆様におかれましては変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます…。終わりに臨みまして皆々



【写真】 上・入口正面に飾られた三笠メッセージ
中・会場大広間風景
下・白はんばりの腰元をしたがえ挨拶にまわる京谷達也社長

様のご健勝をお祈り申し上げまして、お礼のことばとさせていただきます」と結んだ。

来賓には三笠製品の西部地区総発売元である三笠建設機械株式会社の小野社長ご夫妻をはじめ関連会社のお歴々が見えていて、親しみ溢れる拍手がしばらく鳴り響いた。

歓談たけなわに盛り上がったところで、さらなる拍車をかけたのがアトラクション多岐川舞子のオンステージ。京都生まれの演歌歌手としてデビュー9年目の今年、いよいよテレビ出演のチャンスも増えたというだけあって見事な熱唱ぶりだった。ちなみに歌った曲目を記録しておくなら次のとおり。「河内おとこ節」「あなたの女」「夢織り酒場」「妻恋道中」「東京の花売り娘」「港町十三番地」「祝い酒」「螢」「珍島物語」「津軽望郷譜」など。熱心なカラオケファンのお客様はステージ前を離れることなく、終始巧妙な声援をおくって歌手を喜ばせ、乗りに乗らせる微笑ましい情景を繰り広げるひととき

だった。

ホテルオークラ自慢の大広間いっばいの歓談の人波。その中を京谷社長が純白の目印はんばりを掲げた腰元ガールを連れて回遊、立ち止まってはにこやかに挨拶を交わすなど、三笠産業60周年にふさわしい絵巻のような社交場の情景も展開した。

ゴルフ談義に花をさかすグループ

三笠建設機械創立四十周年 謝恩のつどい盛大に行われる

三笠建設機械の「創立40周年謝恩のつどい」が、5月27日(火)大阪のリーガロイヤルホテル「光琳の間」に於いて開かれ、お得意先様、仕入先様など約320名のお客様をお招きして、盛大に行われた。

当日は好天に恵まれ、会場受付には早くから各地のお客様がお見えになり、待合室のあちこちで談笑される姿が見られた。

小野社長以下三笠の役員が出迎え、ムード溢れる軽快な生バンド演奏が流れる中を会場入りすると、スポットライトに照らされた三笠オレンジと近年のヒット製品であるミント色のパイプロコンパクター等、若草に囲まれた三笠製品の展示場をしつらえた会場内で広くゆったりした円卓の席に着いたころ、「本日は、三笠建設機械株式会社創立40周年誠にありがとうございます」のナレーションと盛大な拍手で始まった。

主催者を代表して挨拶に立った小野社長は、創立40年を振り返った後、「三笠産業さんも本年4月創立60周年を迎えられました。誠に御苦労でたい限りでございます。そこで三笠産業さん60年、三笠建設機械40年、両三笠合せて100年を一区切として心から改めて御礼を申し上げつつ21世紀を見据え、併せて次ぎへの歩みの第一歩といいたしたい。」と述べられ、「現在取締役室長として見習いをさせております末娘の小野秀美をまだまだ未熟者ではございますが、この期に経営陣の中核として、また出来得ますならば将来の後継者として育ててまいりたい所存でございます。」と紹介挨拶があり万雷の拍手を浴びた。

来賓を代表して、三笠建設機械(株)とは一番古くからの取引先であり、三笠製品第一号を販売して頂いた明治の最長老である大先輩、広島宝物産株式会社 会長 末長 等さまより「貴社は、昭和32年5月に創立され、パイプレーターその他の特殊建設機械を西日本地区の総発売元として営業を開始されました。戦後の日本は、文化国家として国土開発や近代都市建設、高速道路や高層建築その他の為、是非とも特殊建設機械が必要で有りました。三笠製品はこうした好機に総力を結集し、活発な営業展開・拡販努力をして、ユーザーに絶大な高評を得て全国販売される迄

創立40周年謝恩のつどい

三笠建設機械株式会社



に成りました。貴社は、三笠産業さんと協力して先年、世界でも初めての電子を使ったマイコンパイプレーター等の新製品を開発して、近年この不況下にも拘わらず大きく売上成績を向上させ、まさに21世紀の先端産業とし前途有望な会社であります。我々は、尊敬の念をひとしお深くしている次第でございます。何卒、今後とも益々精々努力されましてより一層のご発展・永遠のご繁栄を祈念致し、併せて社長様を始め社員の皆様方の一層のご健康とご多幸を心よりお祈り致しまして、創立40周年記念の喜びの挨拶とさせていただきます。どうもおめでとうございました」と祝辞を述べられ再び万雷の拍手が沸いた。

続いてお寄せ頂いた祝電の披露や㈱東京三菱銀行専務取締役宇野明博様による乾杯が行われ、艶やかな真奈尚子とアルファベッツのオンステージの頃には宴も酣となり、談笑の声が会場にこだまっていた。

最後に営業本部長である窪田取締役が「当社の創立40周年謝恩のつどいにご参加頂きました事、厚く厚く御礼を申し上げます。創立40周年謝恩のつどいの本日、新たな出発の日と致しまして私ども三笠建設機械株式会社社員一丸となって頑張る所存でございます。重ねまして今後とも宜しくご指導下さいますようお願い申し上げます。本日は、誠に有り難うございました。」と挨拶され、2時間半を超える華やかな創立40周年謝恩のつどいは盛會裡に無事に終了しました。

西販課 川島 記

親睦の笠友会40周年を南国で祝う

ようやく春めいた陽気となり、桜の便りもちらほら聞かれるようになった3月20日(木)、朝早くから成田空港に集合した笠友会一行は先発、後発の2班に分かれてシンガポールに向け出発した。



三笠産業㈱の協力会社の親睦団体である笠友会は今年がちょうど設立40周年という事で、これを記念して豪華に海外旅行となった次第である。

シンガポール、チャンギ空港に到着するとそこはまさに真夏の気温で、つい十数時間前に、まだ肌寒い館林駅にいたことが不思議に感じられた。

一夜開けて21日はゴルフ組と観光組、そして自由行動組に分かれて南国情緒を満喫。私はゴルフ組に参加して、マレーシア・ジョホール州の「スターヒルゴルフクラブ」にて海外初プレー。張り切ってスタートしたのだが、暑さと「お客さんOB、OB」「お客さん池、池」とのキャディーの声にすっかりバテてしまい、最終のホールに近づく頃には脱水症状一歩手前の状態で、これでは観光組の方が良かったかなと思いつつながらお風呂に飛び込んだことだけが印象に残った。ところが観光組もバスのエンジントラブルで20分以上も歩かされ、ビールのおいしさだけが印象に残ったとのこと。

翌日は、全員でシンガポールの市内観光に出かけた。シンガポールは非常に洗練された国際都市で、とても清潔な街である。隣の国マレーシア・ジョホール州から水も食料も労働力も輸入している小さな国、と言うよりも都市である。そして多くの民族が集まって働いている。夜明けとともにジョー

ルからシンガポールへトラック、バスが渋滞しながら橋を渡って来る。まさに大都会に向かうラッシュアワーである。お隣マレーシアのジョホール州の人は、賃金の高いシンガポールへ出稼ぎに行き、自国にある工場にはインドネシアから働きに来ているという。だから面倒な出入国も当たり前のように行われている。

シンガポールはビールをはじめ酒類、タバコは日本より高いし、ルールを守らないと罰金が非常に高い。乗用車、住宅(マンション)は夢のような値段だという。しかし治安は良いし、教育の面や住み心地も大変良いということである。シンガポールからインドの都市に転勤になった人が、またシンガポールに戻ってきたときは涙が出たということであった。

多民族国家なので、様々な国から集まって生活している、またそれぞれの宗教の違いなどで小さな町を形成しているそうである。夜の屋台街での飲食も来てみて初めて経験できるものである。「お客さん、偽物、偽物、安くするよ!!」これには大いに笑わされた。土産物屋では売り子に付きまといわてしまい散々苦労したが、みんな陽気なシンガポリアンであった。

その晩、ジャングリラホテルのバンケットルームにて総会が行われた。冒頭多羅尾会長が三笠60周年のお祝いと笠友会の益々の結束と三笠産業への協

力を約束した挨拶があり、続いて京谷社長が三笠60周年記念の報告と、前回のコスト協力へのお礼、この1年間で好調であったこと、そして今後は厳しい状況にそなえて更なる協力を…との挨拶があった。

総会後はパーティーに移り会員のみなさんと和やかにテーブルを囲んだ。バンケットルームは禁煙で、食事の合間に廊下に出てちょっと一服。つい大

声で喋って注意されてしまった。今回の旅行には奥様と一緒にの方や娘さんと一緒にの方もおられ、その方々はとてもジェントルマンであった。

そして最後の夜はホテルの部屋でスーパーで買い求めたお酒を飲みながら(部屋の飲み物は非常に高いので)歓談し次回の総会での再会を誓い合った。

館林工場 十九浦記

東北三笠レンタル会 経営者セミナー開催

去る5月13日(火)~14日(水)の二日間、第5回目となりました東北三笠レンタル会経営者セミナーが、仙台サンプラザホテルにて盛大に開催されました。

ご出席された皆様が毎年楽しみにしている新製品及び推奨機種発表会では、分離給油ランマー、ガソリン4サイクルランマーやモデルチェンジした前後進コンパクト等、充実した品揃えの数々にお客様も熱心に聞き入っておりました。

引き続き会場を移し、始めに東北三笠レンタル会福田会長(幸和リース株式会社社長)よりご出席頂いた皆様へのお礼と東北地方における景気発展への希望を交えたご挨拶を頂き、続いて三笠産業京谷副社長より「小型建設機械に新たに参入したメーカーもあつて、競争が益々激しくなっていくと思いますが、我々としては製品開発力を武器として、他社が全く手をつけていない新製品を皆様にご提供していくことをモットーとしております」と力強く方針を発表しました。

ご出席頂いた皆さまが目にした製品に対して、技術研究所松下専務より補足説明をして頂き、製品に対する質疑応答では皆様からの忌憚のないご意見やご質問を頂くことが出来ました。

しばし休憩をはさんだ後、スミセイリース株式会社金平敬之助会長より



「人が生きる組織が生きていく」と題しての講演がありました。例年、経済や景気動向に関する講演が続いておりましたが、今回はテーマを「人」に絞ってのお話となりました。

金平会長のお話は、色々な出来事を交えながら経験豊かな言葉やしぐさを持って力強く説き、また組織での人間関係においては「部下の気持ちを前向きにさせるのが本当のマネージメントではないでしょうか」と語り、拝聴された皆様にとっては人とのつながりを考えるにおいて大いに参考になったことと思います。

講演終了後は懇親会へと移り、皆様思い思いに楽しんで頂き、終始和やかなムードの中で時が過ぎていきました。

翌日は、緑ひろがる花の杜ゴルフクラブにおいてゴルフコンペが開催されました。雨模様の中でのスタートでしたが、参加者各々日頃の腕をご披露され、幸和リース(株)福田社長が見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

お集まり頂いた皆様方は、また次の定時総会での再会へと向け帰路へとつきました。

東北二課 欽農記



楠・樟 クスノキ

むかし、後醍醐天皇が鎌倉武家政権を倒そうと苦心なさっていた頃、うたた寝だったか明け方だったか不思議な夢を御覧になった。緑の茂った南向きの大きな木の枝が、優しくいたわるように天皇の身を守ってくれる……。

「おお、夢であったか」とお呟きになって早速その「南の木」を探がすようお命じになられた。……少年時代に読んだ絵本『楠木正成』だったか『大楠

公』だったか、おぼろな記憶です。クスノキは本州関東以西、四国、九州方面に分布する常緑樹。信州の山村で生れ育った記者には見知らぬ木であり、強い関心を寄せた木でしたが、暖国生れの皆さんには神社やお寺境内のごくありふれた樹木でしょう。なるほど知ってしまえば決して珍しい木ではありませんでした。

三笠本社への通勤路、お茶の水駅から明治大学裏通りの山の上ホテル下にある小さな錦華公園にも、坂道に沿って直径50センチほどのクスノキが二本どっかりと根を張っています。都庁か区役所かの管理者は、樹木の枝払いを仕事にしてバサバサと切り落すので、クスノキ独特のたくましい姿ではないけれど、照り輝く葉の美しさはいつも目と心にやすらぎを与えてくれます。その葉を一枚もぎとって鼻孔にあてて嗅いでみると、おお、芳香!。市販

の芳香剤などとても及ばない高貴な匂いがたがうのです。

本紙のマンガ「忍法猿楽流」や三笠カレンダーでお馴染みの画家永井郁さんの画文集『万葉の道』が出版されました。とてもいい本です。ある月刊雑誌に過去5年ほど連載したもので、その取材旅行には記者も度々同行し旧知の気安さから大いに弥次喜多道中を楽しみました。そんなある時、大阪のビジネスホテルを出て和泉市の信太森を訪ねたのです。ここで見たクスノキの



老木は実に見事でした。樹齢千年というだけあって根株の広がりが大きく浮き上がり、暗く気味悪い空洞になっています。白蛇が棲んでいるとかで入口に卵が幾つも供えてありました。見上げれば太い枝の太い枝の広がりには天を覆うばかり。「この樹齢千年は嘘ではなさそうですね」と二人は感動して由来説明を読んだのでした。

嵐の日に太い枝の一本が轟音をたてて折れ、近在の人々が総出で整理したという古木が境内の隅に積んであったので、僕は一本そっと引き抜いて石で叩いて割ってみました。鼻を近寄せるまでもなくプーン・ホンワカ、何ともいえない芳香が漂って二人は恍惚に痺れ、そのまま持ち帰りました。今も彼のアトリエ、記者の机の上に、あのクスノキの破片は恍惚の芳香をたたえて麻薬のように置かれています。



東京三笠レンタル会 工場見学会 同時開催

去る5月21日(木)、22日(金)の両日、東京三笠レンタル会(会長 片岡建機リース株式会社社長原照雄様)主催による工場見学会が、三笠産業館林工場、春日部工場及び部品サービスセンターにて行われました。

館林市内が停電するほどの雷雨だった前日とは打って変わり、天が味方する晴天に恵まれた工場見学会となりました。

初日の館林工場では、自動工作機を中心とした機械加工、高周波パイプレーター、ランマーの組立ラインなど見学して頂きました。ちょうど本年度新製品である分離給油型ランマーの組立が行われており、実際の生産の様子や自動塗装、試運転と完成検査など充分ご覧頂けたと思っております。また工場見学会終了後、FX-Aタイプ高周波パイプレーター、FG-130S防音型高周波ゼネレーター、MT-50HS(分離給油)63HS(分離給油)76D(ディーゼル)ランマー他、新製品の説明と実演が三笠技術陣から行われました。

ホテルに到着後懇親会が行われ、三笠についてのご意見、工場のご感想など、話がはずむ中、カラオケで自慢の



のどを披露する方もあり、会場は終始和やかでした。

翌日は春日部工場に移動して頂き、MVC-77プレートコンパクターとMVH-303DS前後進パイプロコンパクターの組立ライン他をご見学頂きました。前後進のメカニズム、システムの安全性などの説明に熱心に耳を傾けて頂いたり、コストダウンの要望など貴重なご意見を頂きました。

最後に部品サービスセンターで修理、部品の管理状況をご見学頂き二日間の日程を終了しました。

ご参加頂いた会員の皆様方の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

静岡営業所 和泉記

片岡建機リース(株) 浜松営業所を開設



東京三笠レンタル会の会長をお願いしている片岡建機リース株式会社さん(本社・沼津市 社長・原照雄氏)

におかれましては、去る5月8日(木)浜松営業所を開設されました。(浜松市篠ヶ瀬町981-1 電話053-465-1123 所長・後藤博幸氏)

片岡建機リースさんでは沼津、静岡に次いで3番目の営業所となり、静岡県内をネットワークすることが可能になりました。またスタッフは三笠の製品を始めとして機械全般を熟知され、質の高い対応が可能であると期待されています。

その浜松営業所に投入されている機種は油圧ショベルから水中ポンプ、発電機等浜松地区のユーザーさんの要望に充分応えられる最新の品揃えです。



後藤所長

また肝心の三笠製品は高周波よりも一歩進んだマイコンパイプレーターを導入され、さらにMVH-303DS前後進パイプロコンパクター、MRH-6DSハンドガイドローラー他最新鋭の機種で新しい営業所を力強くアピールされています。また、ベストセラー機種のMT-50Wランマー、MVC-60CEプレートも多数揃えて頂きました。

最後に後藤所長さん始め浜松営業所の方々の今後のご活躍と営業所のご発展を心からお祈り申し上げます。

静岡営業所 和泉記

(株)レント 関東地区初の 営業所を横浜にオープン

去る5月6日、(株)レント様(本社・静岡市 社長・丹羽信弘氏)に於かれましては、関東出店第一号となる横浜旭営業所(統括所長・長谷川文明氏)をオープンされました。

同営業所は東名高速道路横浜町田インターに近く、又市内主要幹線道路である、保土ヶ谷バイパス、旧国道16号、県道丸子茅ヶ崎線に囲まれた非常に交通アクセスのよい場所に位置しております。

(株)レント様は、静岡県・愛知県に22の営業所を擁し、関連会社を含め岐阜県や中国の天津と広範囲な地域にわたり事業展開され、またアートレンタル、船舶等幅広い業種に営業活動を行ってられます。

三笠製品も分離潤滑式エンジンランマー、パイプロコンパクター等積極的に時代のニーズにあった新製品をいち早く導入され、心強い限りの御協力を頂いております。長谷川所長様はじめ横浜旭営業所の皆様のこれからの御活



横浜旭営業所の皆さん



躍を心よりお祈り申し上げます。

横浜旭営業所

住所 横浜市旭区川井宿町125-7

電話 横浜045-952-7171

横浜営業所 山根記

旅と絵でたどる「万葉の道」

——日本人の原風景を求めて——

本紙連載忍法猿楽流三笠丸でお馴染みの永井郁氏が素晴らしい本を出しました。是非お読み下さい。なお、抽選で10名様にプレゼントします。ご希望の方は三笠ニュース編集室宛におはがきでお申し込み下さい。



永井郁著・画
2200円
日本教文社刊

三笠クイズ VOL.26

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、子供も親も期待しているものが浮かんできます。さて何でしょう。

A	B	C	D	
イ	4			
ウ			カ	E
エ		2		5
3オ				

ヒント

ヨコのかぎ
ア、でんでんむしの別の呼び方。
イ、〇〇〇茶釜で有名な茂林寺は館林市にあります。
ウ、犯人は〇〇勅のある人間だ。
エ、この件は口外〇〇〇に願います。
オ、むごい〇〇〇を受ける。
カ、一年のうち昼が最も長く夜が最も短い日。今年は6月21日でした。

タテのかぎ

A、コガネムシ科の甲虫、雄は頭に角がある。
B、最も代表的な鶴。特別天然記念物に指定されている。
C、今年の新人は〇〇揃いだ。
D、庭木。生け垣などに植える落葉樹。夏、秋の頃紫、白などの花をつけ、朝開いて夜しぼむ。
E、豆〇〇〇の手拭いを鉢巻にする。
F、外から見えない心中。〇〇に開志を秘める。

【応募の方法】官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえ応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101 東京都千代田区環状町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集室

●締切り 1997年8月11日(月) 当日消印有効

Vol.25の答えは「シオヒガリ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。野口結花様(広島市)西沢玲子様(上水内郡)佐藤弘靖様(仙北郡)上原新次様(宇都宮市)中澤紀代様(大阪市)小柴栄子様(館山市)吉村智子様(熊本市)伏見亮太郎様(中川郡)日江井健次様(千葉市)高瀬清子様(十和田市)

氏名 辻 真砂美
生年月日 昭和41年4月3日
出身地 東京都
所属 管理本部コンピュータ室
家族 独身



——日頃どんな仕事をしていますか？

毎日行っている仕事は、営業所を含めた営業各課から上がってくる受注・売上伝票に基づいた日計表の処理です。そして、締め日ごとにお客様にお送りする請求書の打ち出し、経理部から上がってくる集金元帳の打ち出しなどがあります。また、新規お取引引きを頂いたお客様の登録などのデータ処理も受け持っています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

青い海とカラフルな魚達に魅せられてスキューバダイビングを始め、早5年になります。海に潜り、かわいい魚に囲まれますと、日頃のストレスも一気に吹飛び、身も心も爽やかになります。これからも続けていきたいと思っています。

——お客様に一言どうぞ

昨年9月に受付係からコンピュータ室へ異動となりました。当初は何も解らず、ただただ戸惑う事ばかりで、男性陣のお荷物となっていました。やっと仕事の流れも掴めるようになってきました。お客様とは直接のつながりはありませんが、データ処理を的確にし、お客様にご迷惑をおかけしないように頑張ります。

我ら三笠ブルーズ



氏名 松井 大輔
生年月日 昭和47年3月21日
出身地 神奈川県
所属 海外営業部一課
家族 独身

——日頃どんな仕事をしていますか？

私の所属する海外営業部一課は主にアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、韓国などを担当しておりますので、それぞれの国へ部品・製品の出荷、さまざまな問い合わせに対する回答などを行っております。もちろん営業ですので時々現地に出張し営業活動を行っています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

週末に野球、サッカーをやっております。野球は会社の有志が集まってチームを結成しておりますが、長い間勝利の喜びを味わっておりません。どこか勝たせてくれる？チームがございましたら至急ご連絡下さい。いつも練習ばかりなので、今年はどんどん試合をしたいと思っています。是非ご連絡を！

——お客様に一言どうぞ

日頃三笠製品をご愛用頂き誠にありがとうございます。私自身三笠に入社し4年目になりました。今後も仕事に、遊びに精一杯頑張っていきたいと思っています。時にはご迷惑をおかけするようなこともあるかと思いますが宜しくお願い申し上げます。